

# 2010年度 三重大学全学 FD

## 多様な PBL を導入した授業のデザイン

目標： 教員，教育支援業務を担当する職員が，学生の主体的な学習を促すひとつの方法として，PBL を導入した授業のデザインと運営について理解を深める。

主な対象者： PBL を導入した授業に関心を持つ三重大学の教職員

日時： 2010年9月14日（火）13:30～17:00

場所： メディアホール（総合研究棟Ⅱ 1階）

当日のスケジュール		
時間帯	内容	担当
13:30～13:50	開会の挨拶 説明：三重大学の教育目標と PBL の位置づけ	野村由司彦 (理事(教育担当))
13:50～14:10	説明：多様な PBL の展開に向けて	山田康彦 (HEDC 教育開発部門長)
14:10～15:00	<b>PBL を導入した授業</b> 問題提示型 PBL の事例：経営学総論演習 問題自己設定型 PBL の事例：情報工学概論 質疑応答	青木雅生 (人文学部) 大山 航 (工学部)
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:00	<b>PBL を導入した授業</b> プロジェクト型 PBL の事例：酒造り 実地体験型 PBL の事例：海外臨床実習 質疑応答	久松 真 (生物資源学部) 堀 浩樹 (医学部)
16:00～16:50	全体討論：多様な PBL の展開	
16:50～17:00	閉会の挨拶	中川正 (副学長(教育担当))
17:15～19:00	懇親会 (パセオ)	

### 懇親会のご案内

FD 終了後、17:15 よりパセオにて懇親会を予定しています。参加をご希望の方は、9月6日（月）までにお申し込みください。（会費制：3000円）

申し込み・問い合わせ 高等教育創造開発センター  
(059)231-5615 (内線 3771) center@hedc.mie-u.ac.jp  
当日参加も受け付けます。

## 2010年度 三重大学全学FD：多様なPBLを導入した授業のデザイン

**目的：** 三重大学の教員が三重大学におけるPBL教育の位置づけ、その内容と方法を理解する。

**目標：** 教員、教育支援業務を担当する職員が、学生の主体的な学習を促すひとつの方法として、PBLを導入した授業のデザインと運営について理解を深める。

**日時：** 2010年9月14日（火）13:30～17:00

**場所：** メディアホール（総合研究棟Ⅱ 1階）

**対象者：** PBLを導入した授業に関心を持つ三重大学の教職員

**スケジュール：**

時間帯	内容	担当
13:30～13:50	開会の挨拶 説明：三重大学の教育目標とPBLの位置づけ	野村由司彦（理事（教育担当））
13:50～14:10	説明：多様なPBLの展開に向けて	山田康彦 （HEDC教育開発部門長）
14:10～15:00	<b>PBLを導入した授業</b> 問題提示型PBLの事例：経営学総論演習 問題自己設定型PBLの事例：情報工学概論 質疑応答	青木雅生（人文学部） 大山航（工学部）
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:00	<b>PBLを導入した授業</b> プロジェクト型PBLの事例：酒造り 実地体験型PBLの事例：海外臨床実習 質疑応答	久松真（生物資源学部） 堀浩樹（医学部）
16:00～16:50	全体討論：多様なPBLの展開	
16:50～17:00	閉会の挨拶	中川正（副学長（教育担当））
17:15～19:00	懇親会（パセオ）	

※各実践事例は20分で、事実確認等の簡単な質疑応答を含む。

### PBLの主なタイプ（『PBLの手引き』（2010年10月発行予定）より）

**問題提示型PBL（事例シナリオの活用を含む）：** 学習の契機になる問題との出会いを教員が提示することによって学習が展開する。学習課題の設定や学習の進行は学生の自己決定による。

**問題自己設定型PBL：** 学習の契機になる問題や学習課題はすべて学生自身が設定する。

**プロジェクト型PBL：** 学内外の要請や課題設定に基づいて特定の企画の遂行・達成を目指す。

**実地体験型PBL：** 様々な場で実地体験を通して、問題と出会い、問題・課題を発見し、問題解決を進める。